

令和7年度 杉並区施策評価シート I

施策	07	暮らしやすい住環境の形成
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 住宅課、市街地整備課

施策目標

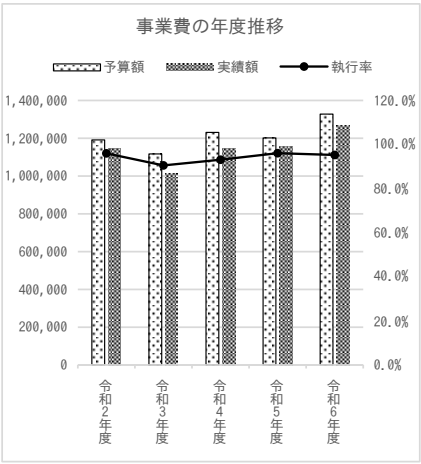
 ○地域の特性を生かした居心地がよく魅力的なまちなみが形成されることによって、住宅都市としての価値が更に高まっています。

 ○ユニバーサルデザインのまちづくりが進められ、誰もが気軽にかけることができる、暮らしやすく快適で魅力あるまちとなっています。

 ○住宅の確保が困難な方が入居できる住宅が増えているほか、区内老朽危険空家の除却による安心安全の確保や空家の利活用など、良好な住環境の中で、誰もが暮らしやすく住み続けられるまちになっています。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	杉並区バリアフリー推進連絡会の開催回数		回	計画	3	2	2	2	
				実績	3	2	2	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	景観施策の普及啓発に係る印刷媒体の発行部数	「杉並景観録（景観新聞）」及び「すぎなみ景観ある区マップ」の発行部数の合計	部	計画	67,000	67,000	67,000	57,000	
				実績	67,000	67,000	56,000	-	
				達成率	100.0%	100.0%	83.6%	-	
	マンション管理状況届出書届出件数（累計）	要届出マンションからのマンション管理状況届出書の届出件数（累計）	件	計画	528	528	528	525	
				実績	495	505	507	-	
				達成率	93.8%	95.6%	96.0%	-	
	老朽危険空家の除却工事費助成件数	特定空家等及び特定空家等に準じる老朽危険空家を除却する工事費の助成件数	件	計画	5	5	5	5	
				実績	4	2	3	-	
				達成率	80.0%	40.0%	60.0%	-	
成果指標	杉並区を住みよいまちと思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画	97	97	97	97	令和12年度
				実績	95.9	95	95.4	-	98%
				達成率	98.9%	97.9%	98.4%	-	
	分類	区民満足度指標							
	まちなみに美しさや落ち着きがあると思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画	82	83	84	85	令和12年度
				実績	80	78.4	82.6	-	90%
				達成率	97.6%	94.5%	98.3%	-	
	分類	区民満足度指標							
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,191,280	1,117,054	1,230,963	1,201,814	1,327,886	1,372,393
			実績額	1,143,756	1,011,375	1,146,360	1,154,785	1,265,198	-
			執行率	96.0%	90.5%	93.1%	96.1%	95.3%	-
	人件費	千円	予算額	184,290	178,749	177,806	176,214	207,921	240,965
			実績額	193,760	184,808	181,085	190,818	234,446	-
			執行率	105.1%	103.4%	101.8%	108.3%	112.8%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	1,375,570	1,295,803	1,408,769	1,378,028	1,535,807	1,613,358
			実績額	1,337,516	1,196,183	1,327,445	1,345,603	1,499,644	-
			執行率	97.2%	92.3%	94.2%	97.6%	97.6%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	170,937	124,280	144,074	133,083	223,296	251,208
			実績額	135,592	120,172	136,552	122,337	226,915	-
			執行率	79.3%	96.7%	94.8%	91.9%	101.6%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		-5.8%	8.7%	-2.2%	11.4%	5.0%
			実績額		-10.6%	11.0%	1.4%	11.4%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	13.4%	13.8%	12.6%	12.8%	13.5%	14.9%
			実績額	14.5%	15.4%	13.6%	14.2%	15.6%	-



特記事項

施策の成果		<p>「杉並区バリアフリー基本構想」で定めた4つの重点整備地区（荻窪駅周辺地区、阿佐ヶ谷駅周辺地区、富士見ヶ丘駅・高井戸駅周辺地区、方南町駅周辺地区）を中心としたバリアフリー化を具体化するため、令和5年度から令和12年度にかけて各事業者が取り組む内容を定めた「特定事業計画」の進捗管理を、障害当事者や学識経験者、地域団体、関係機関等から構成される「バリアフリー推進連絡会」等を通じて行いました。また、誰もが安全かつ安心して鉄道駅を利用できるよう、京王井の頭線久我山駅のホームドアの整備費の一部について、助成を行いました。</p> <p>「杉並区景観計画」については、区を取り巻く状況の変化等を反映するとともに、区民等にとって分かりやすい内容となるよう改定を行いました。また、「杉並景観録」の発行等を通じて、良好な景観づくりに向けた区民等の関心の向上に努めました。</p> <p>住宅施策については、居住支援協議会と連携を図りながらアパートあっせん事業等により住宅確保要配慮者の入居及び居住の安定に向けた支援を行うとともに、不動産団体や賃貸住宅のオーナー等を対象としたセミナーを開催するなど、セーフティネット専用住宅の登録促進に努めました。このほか、空家等対策としては、特定空家等に準じる老朽危険空家の除却工事費助成を行ったほか、民間事業者との協働による「空家等利活用相談窓口」を令和6年4月に開設しました。</p>	
課題の分析		<p>ユニバーサルデザインのまちづくりの推進にあたっては、様々な障害を抱える障害当事者からの意見を踏まえ、引き続き各事業者と調整を行い、着実にバリアフリー化を進めていく必要があります。また、魅力あるまちなみの創出には、景観計画に基づく区の取組に加え、区民等が自ら景観に関心を持ち、協働して取り組んでいくことが求められます。このため、改定した景観計画の積極的な周知等により、良好な景観づくりへの区民等の理解と意識向上を図り、「暮らしやすい住環境の形成」につなげていく必要があります。</p> <p>住宅施策については、区営住宅への入居を希望しても入居できていない住宅確保要配慮者への支援が課題となっていることから、民間住宅のストックを活用したセーフティネット専用住宅の確保やひとり親・多子世帯への家賃助成等による安定居住に向けた支援を今後も継続していくことが必要です。また現在、孤独死や残置物処理に対する不安から、単身高齢者の受け入れが困難とする賃貸人も多くみられ、今後単身高齢者世帯の更なる増加が見込まれる中、賃貸人の不安を減らすための取組が重要となります。さらに、良好な住環境の実現を図るため、区内に点在する空家について、適正な維持管理の促進や利活用に向けた取組の推進、相談体制の充実など総合的な空家等対策を進める必要があります。</p>	
改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	現状維持	
	今後の進め方	<p>バリアフリー施策について、引き続きバリアフリー推進連絡会等による事業者や障害当事者との意見交換の機会を設けるとともに、京王井の頭線富士見ヶ丘駅をはじめ、各駅のホームドア設置に向けた支援を着実に進めます。また、令和7年4月に改定した「杉並区景観計画」に基づき、取組の周知や意識啓発の強化を通じて、区民及び事業者との連携・協力による景観まちづくりを進め、みどり豊かな住宅都市の継承を図っていきます。</p> <p>住宅施策では、居住支援協議会や福祉部門等と連携しながら引き続き住宅確保要配慮者の入居支援に取り組むとともに、令和7年度より開始した家賃助成制度、転居費用助成制度によって、住宅確保要配慮者の居住の安定確保に向けた支援を行っていきます。空家等対策については、空家の所有者に自発的な除却を促すため、引き続き特定空家等に準じる老朽危険空家の除却工事費助成を実施するとともに、管理不全空家等の所有者に対して指導等を行うことで適正な管理につなげていきます。さらに、利活用の視点から空家を貴重な地域資源と捉え、空家の所有者と利活用希望者のマッチング等の取組を進めます。</p> <p>これらの取組を進めるにあたり、幅広く情報の提供を行いながら、より多くの対話機会を設けることで、可能な限り多くの住民の意見が反映できるよう取り組み、誰もが暮らしやすく、快適で魅力あるまちの実現を目指していきます。</p>	

令和7年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 07】 【施策名称 暮らしやすい住環境の形成】 ※金額の単位は千円

	整理 番号	事務事業名称	実行 計画 事業	主要 事業	令和6年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1	336	ユニバーサルデザインのまちづくり推進	○	○	126,286	5,733	132,019	縮小（廃止）
2	341	景観まちづくり	○	○	13,798	59,464	73,262	現状維持
3	348	区営住宅の住環境整備	○		125,450	4,204	129,654	現状維持
4	349	区営住宅の提供	○		217,477	35,713	253,190	現状維持
5	350	高齢者住宅の提供	○		558,196	40,280	598,476	現状維持
6	351	都営シルバービアの運営			37,598	1,797	39,395	現状維持
7	352	高齢者等アパートの提供			16,152	5,499	21,651	現状維持
8	353	マンションの適正な管理			511	17,699	18,210	現状維持
9	354	住宅修築資金の融資あっせん			66	3,679	3,745	現状維持
10	355	区営住宅整備基金の積立金			132,114	941	133,055	現状維持
11	356	住宅施策の推進	○	○	8,455	36,215	44,670	推進（拡充）
12	365	空家等対策の推進	○		29,095	23,222	52,317	現状維持
13		以下再掲事業の評価表						
14	416	安全美化条例に基づく生活環境の改善						
15	421	公害等防止						
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					1,265,198	234,446	1,499,644	

施策を構成する
事務事業に関する特記事項